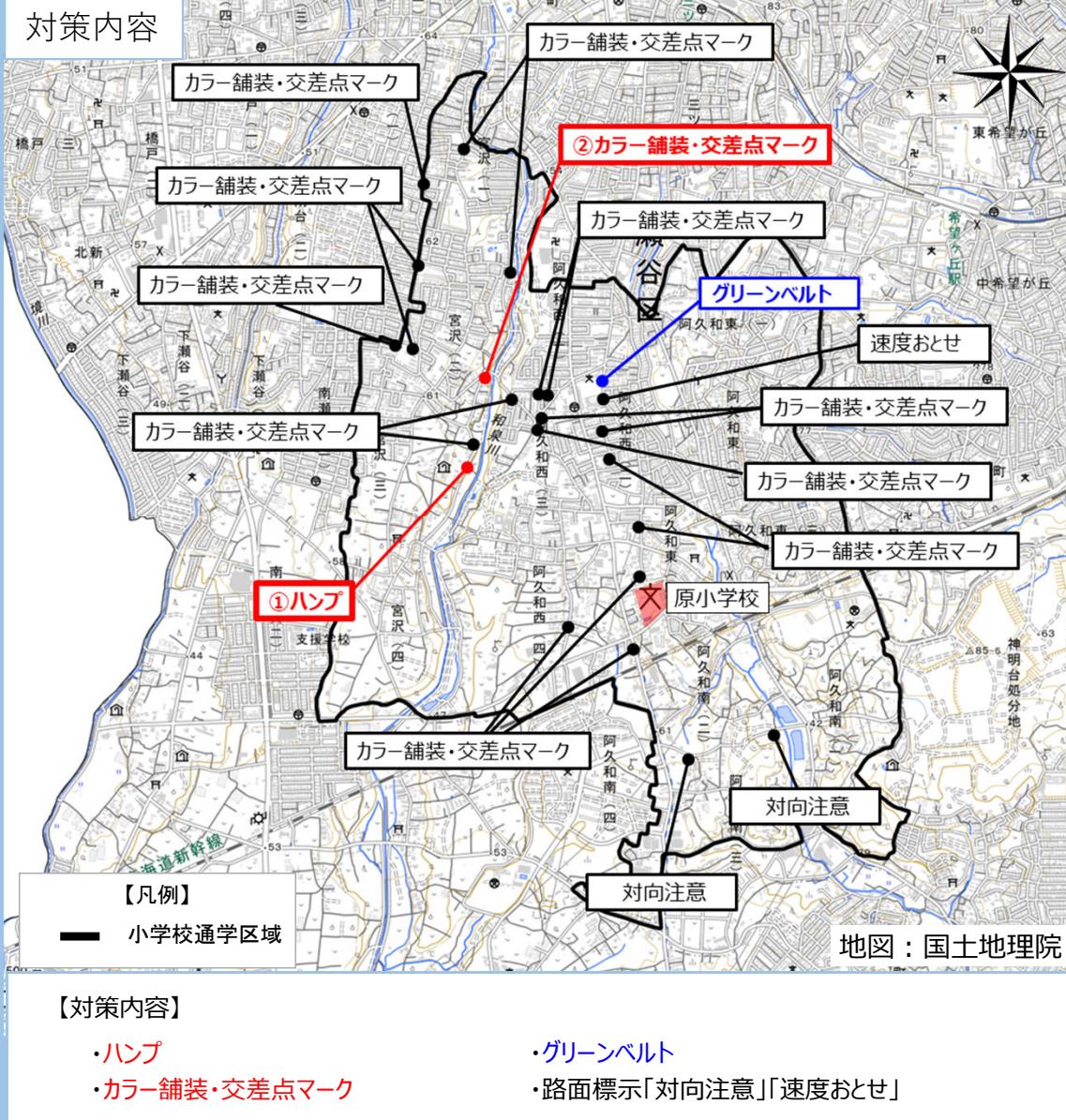
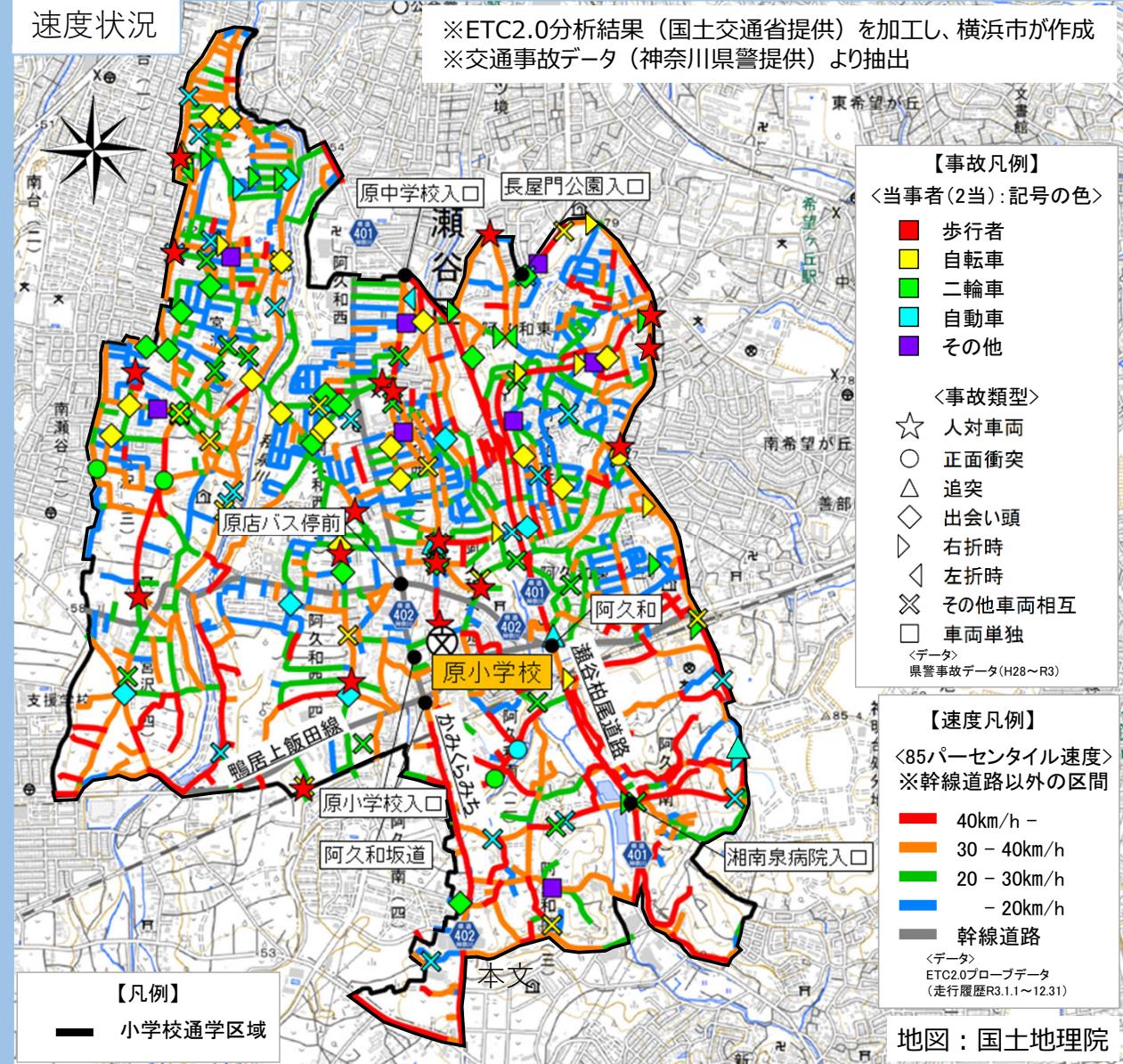
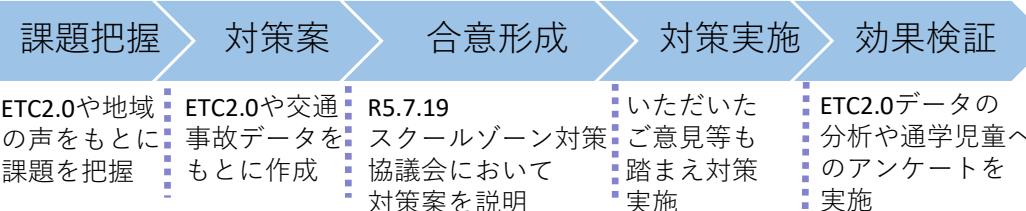


速度状況と対策内容



交通安全対策取組フロー



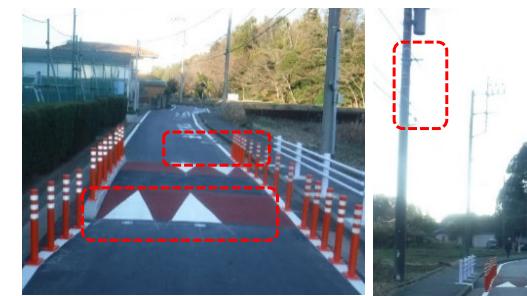
スクールゾーン対策協議会からの主な要望

- カーブしていて、車が見えにくい。ドライバーへの注意喚起となるような路面表示を設置してほしい。
- グリーンベルトを明示して、歩行空間を明確にしてほしい。

スクールゾーン対策協議会の要望を踏まえた交通安全対策



夜間の視認性を考慮したハンプの計画



段差前に自発光鉢を設置し、また防犯灯付近に設置することで、夜間、ハンプを認識しやすくなるようにした。

児童向けアンケート

- Q 工事をして、安全になったと思いますか？
- 安全になった。歩きやすくなった。
 - 今までと変わらない。

全学年
(回答数707名)

72.1% 27.9%

72%以上
が安全にな
ったこと
を実感！



人の歩く場所の道路の色が分かりにくかったから、工事をしたことによって分かりやすくなった。

原小学校児童（6年生）



いつも車の速度が速くて、速度を遅くしてくれたので、少し安心しました。

原小学校児童（4年生）

瀬谷区 原小学校

【対策方針】

○危険交差点及び危険箇所の抽出

学区内の危険箇所の把握及び危機回避の仕方を知る

○危険交差点及び危険箇所の観察

危機回避のためのイメージを膨らませて、安全意識を高める

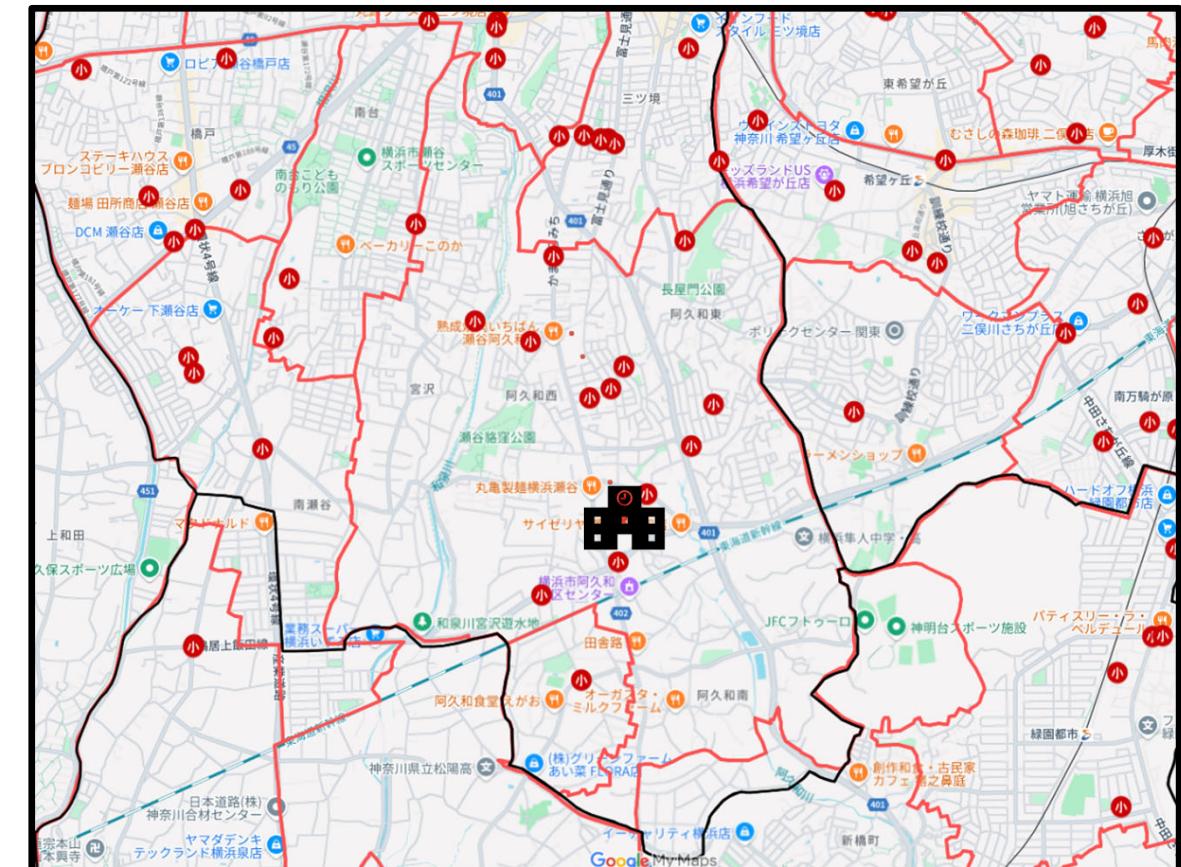
○情報の共有

校外委員、関係機関との連携を図り、改善策を検討する

○見守り活動の充実

地域の方と情報を共有し、安全なまちづくりを目指す

【子ども・安全安心マップ】 引用:Googleマップ



■ 対策事例

自転車パトロールプレートの運用(PTA主体)



登下校時に「パトロール中」のプレートをつけた自転車で学区内の通行を実施

【学校からのコメント】

パトロールプレートがある自転車が走行していることで、子どもたちも見守られているという安心感がもてている

放課後キッズクラブ交通安全教室 (実施日:令和5年8月21日 参加人数:40名)



下校時間が遅く1人で帰ることの多い放課後キッズクラブの児童向け、道路局職員が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】
標識の意味など交通ルールに関するチーム対抗のクイズ形式

はまっこ交通安全教室 (実施日:令和5年5月15日 参加人数:450名)



※写真は対象校とは異なります

道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を乗り始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

幼児交通安全訪問指導 (実施日:令和5年6月30日ほか5回実施 参加人数:計507名)



未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】

みなみ幼稚園、宮沢保育園、阿久和保育園、ほうゆう保育園、原幼稚園

※写真は対象校とは異なります

※写真は対象園とは異なります